

社会福祉法人

http://moriokainochi.lomo.jp

聞いのちの

2019年3月19日発行 発行人 ● 金澤 弘幸 ● 事務局 〒020-8691 ●

TEL 019-652-4162 盛岡中央郵便局私書箱69号 FAX 019-626-5678

この広報は、岩手県福祉基金の助成により発行しています。

本当の願いに 応えていくために

盛岡いのちの電話理事 中原 眞澄

この広報を読む方々の中にも、身近な方が自 らいのちを絶ってしまった・・・・そうした悲しみや 苦しみを味わってきた方がおられると思います。 私自身、そうした体験を何度か味わってきまし た。親しく行き来した友の突然の死を告げられ た時の驚きと痛みは、何年たっても消え去りませ ん。何故?という思い、何かできたのでは…との 悔いは、いつ迄も私の中で入り混じり、答えは得 られません。

そうした中でわたしが思い至っているのは、 彼・彼女らも、本当は生き続けたかったに違いな いということ。しかしそうした願いを断ち切って 向こう側へ踏み切らせる嵐が、周りはもちろん本 人も予想しない瞬間に突然、吹き来ったのだろう ということです。

専門の方々に言わせれば、想像に過ぎないた わ言かも知れません。しかし私は、こうした突然 の嵐の中で、なお、手を伸ばしてつかむことので きる命綱が、どうにかして、いろいろな場所や手 段によって備えられていたなら、きっと違った結 果になっていたのでは・・・・そんな思いに繋がっ ていくのです。

今を生きることが許されている私たちが、今も 私の中で生き続けている彼女・彼等のためにで きることは、彼らが内に抱いていた本当の思い



被災地は今

—三陸鉄道•盛駅

東日本大震災から8年、待ち望んでいた久慈駅一盛駅間 が三陸鉄道リアス線として3月23日に全線開通する。地域 をつなぐ希望の再出発。

や願いに応えることのできる命綱を、小さくて も・細くても、私の生きる場で周りに垂らしていく ことではないか・・・・そう切に思うのです。そし て、いのちの電話は、そうした命綱の一つとして 大きな働きをしているのではないでしょうか。

私みずからは、私が遣わされている教会とい う場で、訪れてくる方、電話をかけてくる方々に、 弱く短かな手を伸ばしているに過ぎません。しか し交わりや支えの中、一つひとつは小さくても、 互いが互いに編まれていくとき、きっと大きな命 への網が拡がっていくのではないだろうか。こう した協働の輪の広がりの中に共に加わることが できたなら・・・・

そんな夢を抱いています。

(日本キリスト教団 内丸教会 牧師)



2018年電話受信件数報告(受信件数11,841件 内、自殺傾向1,105件)

115件の減となりました。

男女の割合では男性64.8%、女性35.2%と男性の 向のある電話(念慮有、危険、予告等)は1.105件(男 性705件、女性400件)で総受信件数の9.3%(前年 10.0%) でした。

自殺傾向電話の割合は、男性9.2%女性9.6%と女 代1,358件(11.5%)の順となっております。 性が0.4ポイント多い傾向にあります。

相談内容別では(件数はグラフをご覧下さい)、最の方式で統計したものです。 も多いのが人生(生き方・生きがい、死別、孤独、災害 等)、次いで精神(うつ、統合失調等の苦しみ)、その る「自殺予防いのちの電話 |の受信件数も含まれてい 他(攻撃、いたずら、テレホンセックス)、家族(不満、

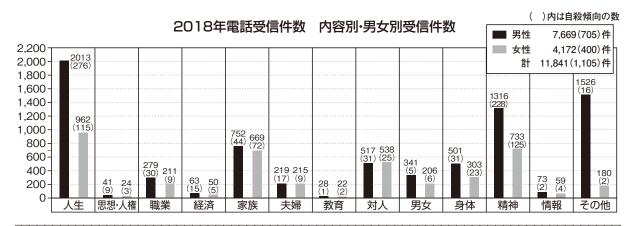
2018年(1月~12月)の対話のあった総受信件 介護、虐待等)、対人(不和・トラブル、いじめ、孤立、 数は11.841件(男性7.669件女性4.172件)で前年より 性格等)、身体(慢性疾患、癌、難病等)の順となって おります。

「その他」には、「もしもし」の一言で切れてしまった 割合が高くなっています。総受信件数に占める自殺傾 電話や性的ないたずら電話のように本来の相談とは 考えにくいものも含まれています。

> 年代別では、40代が最も多く2.693件(22.7%)、次 いで50代2.401件(20.3%)、30代2.391件(20.2%)、60

これらの分類は、全国各地の電話センターと共通

また、この統計の中には、毎月10日に受信してい ます。



インターネット相談の受信件数は55件/

けた相談員5名で実施しています。2018年度の受信 件、50代4件となっています。 件数は55件(男21件、女34件)でした。

多いことと、自殺傾向のある相談の割合が高いことがあ いて、「保健医療」「職業」「人間関係」の分類が多く げられます。2018年度の場合30件に自殺念慮や危険 なっています。 といった傾向が見られました。電話相談と比較して若い 世代からの相談が多いと言えます。盛岡で受信した55 いると思われます。

盛岡いのちの電話のインターネット相談は、認定を受 件中、10代10件、20代17件、30代10件、40代14

相談内容では、「死にたい」といった自殺や生き方に インターネット相談の特徴として、女性からの相談が かかわる問題の分類である「人生」が24件でした。続

これらの問題が、生きていく上での辛さにつながって

「1000時間の顕彰を受けて」

電話ボランティア 6期 K・S

今までこんなに「おめでとうございます |と言 われたことがあったでしょうか?

5年間休務して、正直に言うと、本当に復帰できるのだろうか と不安でいっぱいでした。しかし、傾聴の大切さを教えてくださ った、素晴らしい先輩の方々にお会いしたいという気持ちの方 が強かったように思います。茶話会のとき、「5年間休務して、 復帰してくれてありがとう |と多くの方々に言われましたが、こち らこそ感謝の気持ちでいっぱいでした。

今まで夫の転勤に合わせて引っ越しをしてきました。ボラン ティアを始めようと思ったのは、盛岡に転勤となり7人家族と同 居したのがきっかけでした。毎日の家事と子育てと4人分の 弁当作りに追われて自分の時間がなかったように思います。 そんな中で自分の居場所を求め、20年間でやっと1000時間 を迎えました。

このボランティアを始めたときに小学生だった娘が、結婚 をして孫を2人も授かりました。20年間、良いことばかりでは ありませんでした。同居していた可愛い義妹と頑固な義父 を見送り、自分の兄と大好きな母も見送りました。しかし、い つも冷静に向き合うことができたのは、ボランティアのお陰だ と感じます。苦しみや辛さが分かり、頑張ってもどうにもなら ないことがあることも知りました。そばでずっと見守る人がい ることの大切さも知りました。

これからも鬼嫁と言われながら、もう少しボランティアを続 けようと思います。

岩手県立不来方高等学校音楽部 感動の歌声 チャリティーコンサート開催

盛岡いのちの電話後援会主催のチャリティーコンサートは2018年12月23日(日)午後5時から岩手県民会館大ホールで開かれ、不来方高校音楽部(部員56人)の美しい歌声が約1,300人の聴衆を魅了しました。



「きみ歌えよ」の合唱で幕を開けた舞台は全日本合唱コンクール金賞受賞曲「神の小羊」「グローリア」、金子みすべの詩「不思議」などで豊かなハーモニーを披露しました。合唱版紅白歌合戦からは明るい雰囲気に移り、「愛は勝つ」など広く親しまれている曲やピアノ演奏、そして軽快なクリスマスソングメドレーなど次々と繰り出される楽しい演出に拍手が鳴りやみませんでした。

「北国の春」の大合唱では舞台と客席が一体となる場面もあり、聴衆からは「次回もきっと来ます」と期待を膨らませる声がたくさん上がっていました。寄付金を含めた益金76万1,436円は後援会から盛岡いのちの電話に活動資金として寄付されました。

チャリティーバザー、大にぎわい

盛岡いのちの電話後援会の第28回チャリティーバザーは1月27日(日)、四ツ家教会で開かれ、掘り出し物を求める約160人の入場者でにぎわいました。

バザー用品は今年もボランティアの皆さんや市民の 方々から食器、衣類、手作り靴下、バッグ、帽子、小物 など貴重な品々が数多く寄せられました。また、㈱わし の尾さんから恒例の酒粕が届けられ、㈱南部美人さ んからは初めて清酒の提供を受けることもできました。

後援会は準備段階からこれら善意の品々を分類し 価格を付けるなど精力的に活動を展開。迎えたバ ザー当日は受付係、案内係、清算係など役目を分担し て大勢の入場者にテキパキと対応しました。会場では



会話も広がり、市民の方々が盛岡いのちの電話の役割に理解を深める一日ともなりました。

バザーの益金28万9,785円は盛岡いのちの電話に 活動資金として寄付されました。

^{盛岡いのちの電話後援会} 和やかに交流の夕べ

盛岡いのちの電話後援会の会員交流の夕べは3 月7日(木)、ホテルメトロポリタンで開かれ、約54人の 出席者が楽しく歓談を繰り広げました。

主催者挨拶では高橋真裕会長が人のために役立つことの大切さを述べ「これからも盛岡いのちの電話の安定した運営を支えるため、みんなで寄付を続けていきましょう」と呼び掛けました。来賓挨拶では千葉茂樹副知事が「盛岡いのちの電話をはじめ民間団体と連携して自殺防止に努めていきます」と県



の方針を説明しました。盛岡市の柴田道明副市長の発声で乾杯。出席者は近況を語り合ったり、初対 面同士がたちまち打ち解けるなどして大切な時間を 過ごし、いのちの電話の活動にさらに理解を深める 夕べとなりました。

ご援助ありがとうございます

2018.9.1~2019.2.28

(敬称略、納入順)

「社会福祉法人盛岡いのちの電話」への御寄付には税制上の優遇措置(寄付金控除)が受けられます。詳細は事務局へ。振込先:「社会福祉法人盛岡いのちの電話」岩手銀行本店(普0749493) / 郵便振替(02360-8-22113)

個人 9月佐藤 千春 佐々木仁也 鈴木 睦子 皆川敬·郁子 金澤 弘幸 柿木 和夫 鈴木 洋子 菊池美野舞 匿名1名 田中 10月藤澤 克典 千葉喜久子 中原 眞澄 尭史 三浦 修悦 阿部 知成 髙橋 清実 中谷 敬明 皆川敬·郁子 山山 浩 鈴木 洋子 佐藤 晶子 智田 文徳 金澤 弘幸 匿名1名 澤口ふさ子 11月佐藤千津子 鈴木 剛子 佐藤 潔子 髙橋 真裕 青木慎一郎 松本 真一 皆川敬·郁子 高橋 汀子 望月 善次 三品 克彦 長岡美代子 塚田 縫子 新田 良雄 村谷 仲 鈴木 洋子 佐々木杜子 藤岡 トシ 武内 公子 智田 文徳 匿名1名 工藤 ミヤ 12月大澤 克弘 新村 淑子 千鶴 山口 佐藤 悟 三浦 壮六 辻田 慶子 伊藤貴美子 村井研一郎 藤澤サツ子 佐藤 文子 博 山家 裕子 斎藤 和好 長谷川美智子 早川芙美子 内村 佐々木カナ子 及川 昌彦 名郷根昌弘 石川 久子 鈴木 仁 柿木 康孝 河邊 邦博 能田 健二 坂本 法子 佐久間ミツ 佐藤 克也 澤口ふさ子 澤田 郁子 田口 幸雄 高橋光・アツ子 南 鐵男 馬場 守 藤澤 昇 駒井 朋子 太田 和子 宮本ともみ 上田テイ子 菅 サチ 髙橋 清実 平山 健一 三船 武子 向山 弓子 安井孔美子 小笠原味佐枝 三浦 茂樹 桝沢実登子 三條 博子 齋藤 一枝 兼為美佳子 石木 幹人 佐野 勝俊 皆川敬·郁子 島田 牧子 田村 洋子 平井興太郎 百々格・直子 平野眞理子 勤 織田 信男 大志田マリ子 加藤 義男 岩根多喜男 中村 邦夫 武田 中村美津子 君子 幹夫 髙橋 工藤 隆一 慶哉 西澤 恵子 梅原 沼田 純子 秋山 顯一 星 千葉 祐嗣 村上 順子 小峰 清子 小檜山富代 晃 横沢 誠子 村松 敦子 北田 玲子 宮田 木村 燿子 黒﨑 泉子 髙橋千賀子 平間 正子 佐藤 幸子 坂本 修 土田公美子 八木橋伸之 美穂 山田千代子 村井 久子 博子 藤澤 谷藤 宮古 小川 昌子 高橋 近藤 駿 伊藤 裕子 昌久 大沢 英夫 田口 泰子 村井 全司 藤井 律子 清水 弘子 阿部 榮子 出町 容子 右京 幸子 高橋 幸子 阿部 金澤 弘幸 岩浅 武雄 藤原 令子 小川多津子 重茂淳彦·菊子 深澤秀男·多紀子 俊一 岩倉 三田地智子 三木 治夫 及川 正彦 髙橋 佐藤 尚 山口 浩 重夫 丸山 優子 中村 鈴木千賀子 板垣千恵子 慶彦 匿名8名 清郎 1月古川 徳浩 中谷 敬明 浅田 和子 高橋 祐子 田澤 晶子 石川千惠子 長澤 優二 箱崎 山下 光 齊藤 芳弘 三浦 修悦 堀合 淑恵 皆川敬·郁子 小保内洋子 岩根多喜男 達下 雅一

2月石橋 キミ **法人及び団体**

細田いち子

熊谷ケイ子

國分 牧子

9月アルファクラブ東北㈱岩手アルファ会 東北フードサービス㈱ 仙台キリンビバレッジサービス㈱岩手支店 盛岡いのちの電話後援会

匿名2名

匿名1名

10月東北フードサービス(株) 仙台キリンビバレッジサービス(株)岩手支店

鈴木

望月

洋子

善次

- 11月東北フードサービス(株) 仙台キリンビバレッジサービス(株)岩手支店
- 1月都南病院 日本基督教団北上教会 (株開成エンタープライズ 西島こどもクリニック 東北フードサービス(株) 仙台キリンビバレッジサービス(株)岩手支店 山形村チャペル一同 智徳会未来の風せいわ病院 盛岡いのちの電話後援会
- 2月日本基督教団盛岡松園教会 盛岡いのちの電話後援会 東北フードサービス(株)

仙台キリンビバレッジサービス㈱岩手支店 アルファクラブ東北㈱取引協力会岩手アルファ会 ㈱宮崎商店

2月末の寄付金累計額は7,191,244円、今年度予算額の8,000,000円の約89.9%となりました。 ありがとうございます。

編集後記

昨年1年間の盛岡いのちの電話の相談内容では、人生に関する電話が最も多く『孤独感』を抱えている方が多い。「孤独とどう向き合うか」等、著作本も多く発刊されているが、人と対話することが一番の妙薬だと思う。盛岡市で行った若者ニーズ調査で、「知っている相談機関は?」という問いに、盛岡いのちの電話は3番目に挙げられた。いのちの電話は混み合っていて繋がりにくいとされているが、知恵を出し合い繋がりにくさを改善したいものだ。

相談電話

- ◆盛岡いのちの電話
- ☎019-654-7575 / 12時~21時(日曜日12時~18時)
- ◆自殺予防いのちの電話 ☎0120-783-556/毎月10日 8時~翌朝8時
- ◆インターネット相談/ https://www.inochinodenwa-net.jp/